

第2回

生駒市森林整備方針のあり方についての懇話会

第1回懇話会の振り返り

令和 5 年 9 月 22 日

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

① 生駒市の森林について

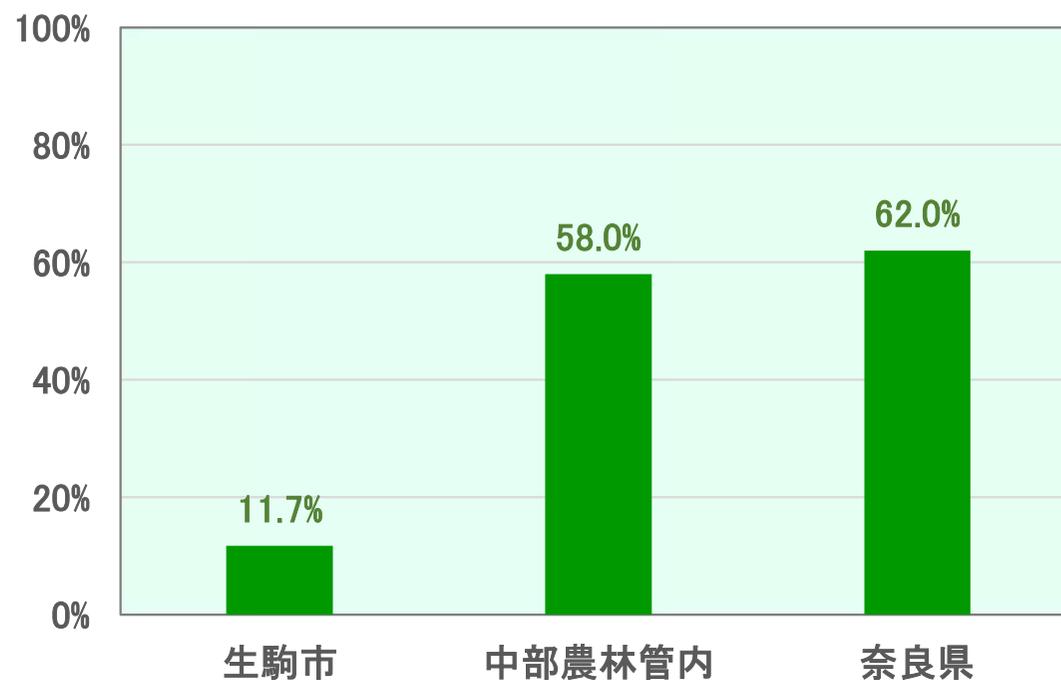
② 森林整備の現状

③ 木材産業に関する状況

1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

1) 森林の地域特性 -人工林率

生駒市の森林は淀川広域流域のうち、大和・木津川森林計画区に属し、その計画対象民有林面積は1,893.65ha(奈良県森林簿・2018年度樹立による)、うち人工林面積は221.03haである。人工林率は11.7%と、奈良県民有林全体の人工林率62%よりも低く、中部農林振興事務所管内の人工林率58%と比較してもかなり低い状況である。また、人工林は各地に分散しており、施業の集約化・共同化が行いにくい状況にある。

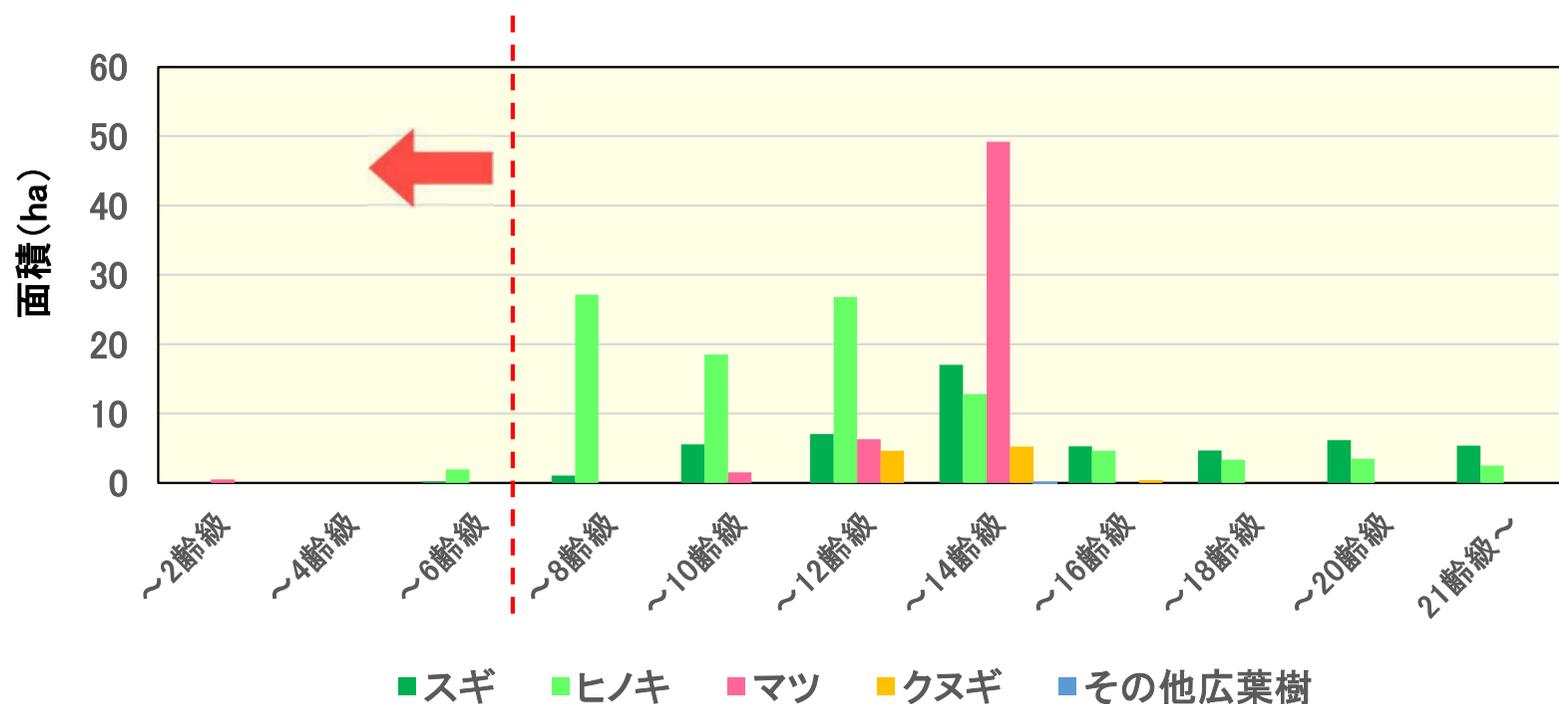


1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

3) 森林資源 - 齢級構成

人工林の齢級分布では、マツ「～14齢級」が49.17haと最も多い。なお、ヒノキ「～12齢級」、「～8齢級」がそれぞれ26.80ha、27.13haとなっているほかは、大きな分布を示す樹種は存在しない。

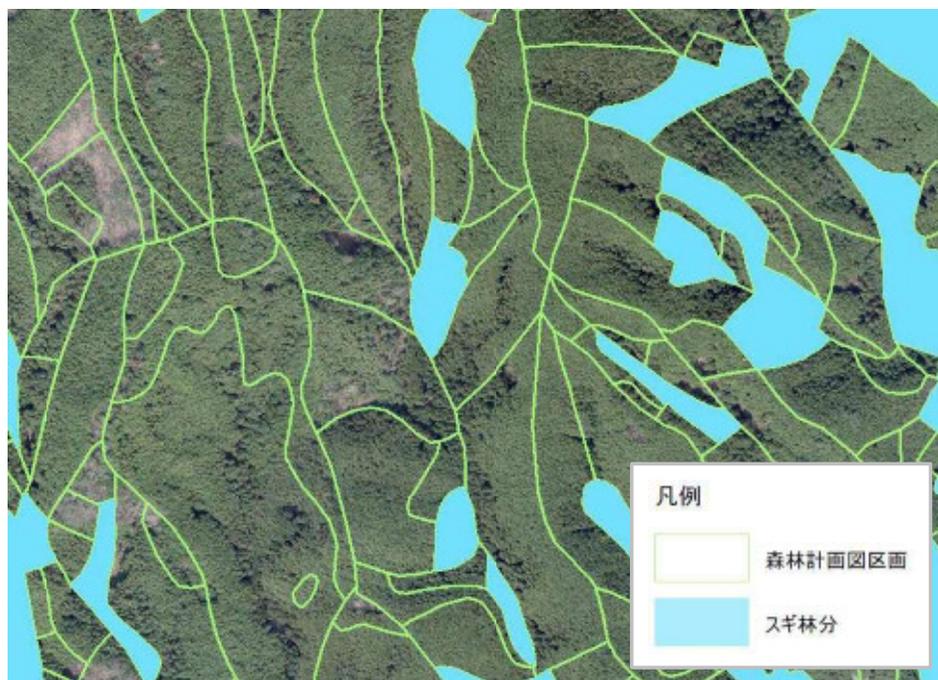
全体的に8齢級未満の林分が少ない傾向にあり、特に4齢級未満の林分はマツの0.50haのみであり、地域林業の産業としての木材利用が少ないことが伺える。



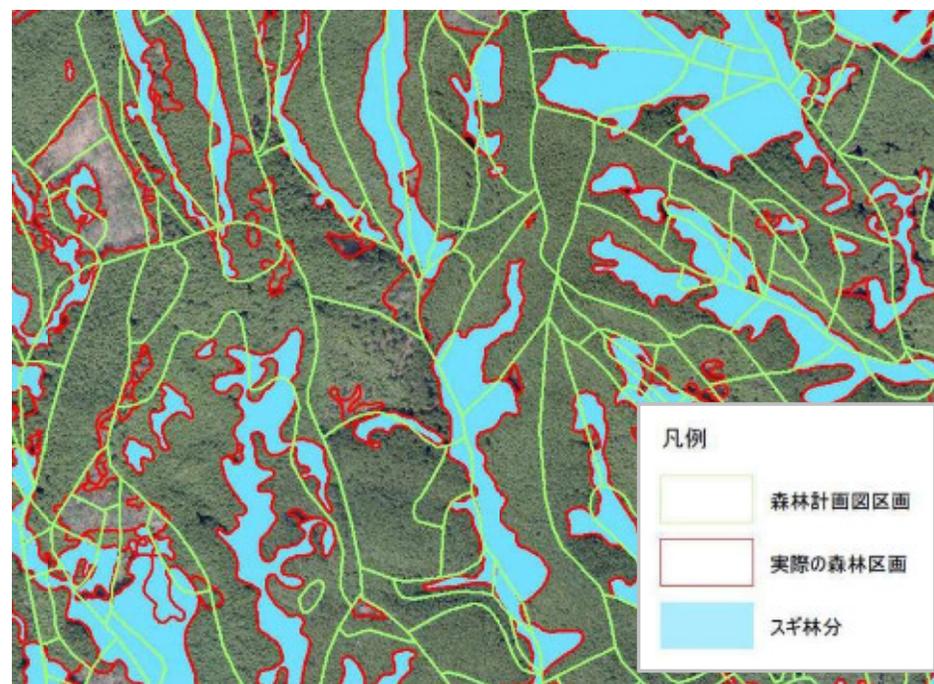
1. 生駒市の森林・林業をとりまく状況と課題

2) 森林簿との現状乖離

森林簿や林地台帳に記載された植栽木や境界などの情報は、全国的にみても必ずしも現状を正確に表したのではない状況にある。生駒市でも同様の課題がある。



例. スギ林分範囲(森林簿・森林計画図に記載されている範囲)



例. 実際のスギ林分範囲(航空写真より判読区分した範囲)

以上の状況と課題より、生駒市として取り組みたい内容

- 1) 集落・公道等の保全対象に悪影響を及ぼす可能性のある森林の適切な管理
- 2) 地域住民が主体となるコミュニティの活性化を目的とした森林環境づくり
- 3) 荒廃している里山林の整備
- 4) 森林資源の有効活用

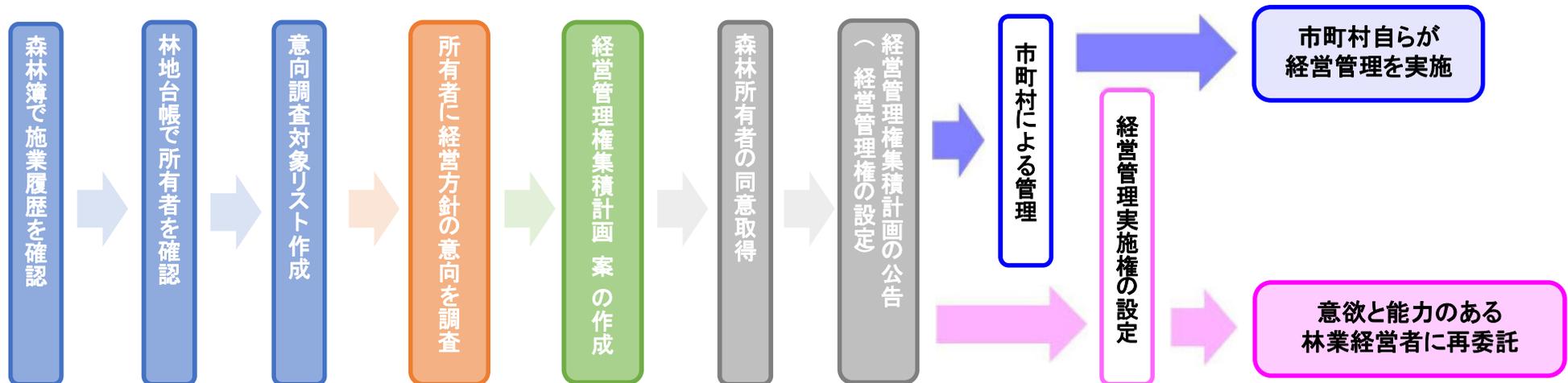
➡ **生駒市の森林整備方針の策定**

➡ そのために、**森林整備方針のあり方** を考える

2. 生駒市森林整備方針のあり方について

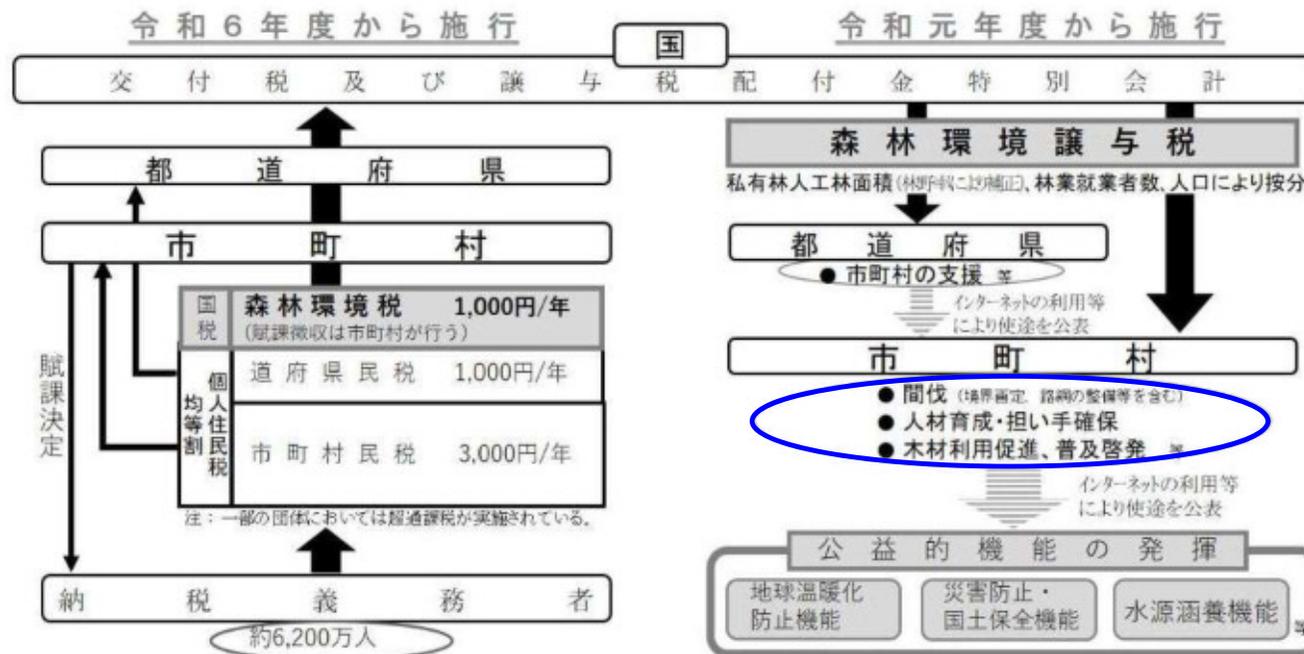
② 新たな森林管理システム（森林経営管理制度）

平成31年度4月より施行された「新たな森林管理システム（森林経営管理制度）」の運用に向け、経営管理権集積計画作成の前提となる**正確な森林現況を把握し、林相区分図**を含む基礎資料の整理を行い、森林整備が必要な林分について**施業の優先順位や路網開設などの検討、森林所有者への意向調査実施、森林経営管理制度の運用等に活用するための基盤**を構築する。



2. 生駒市森林整備方針のあり方について

1) 森林環境税・森林環境譲与税とは？

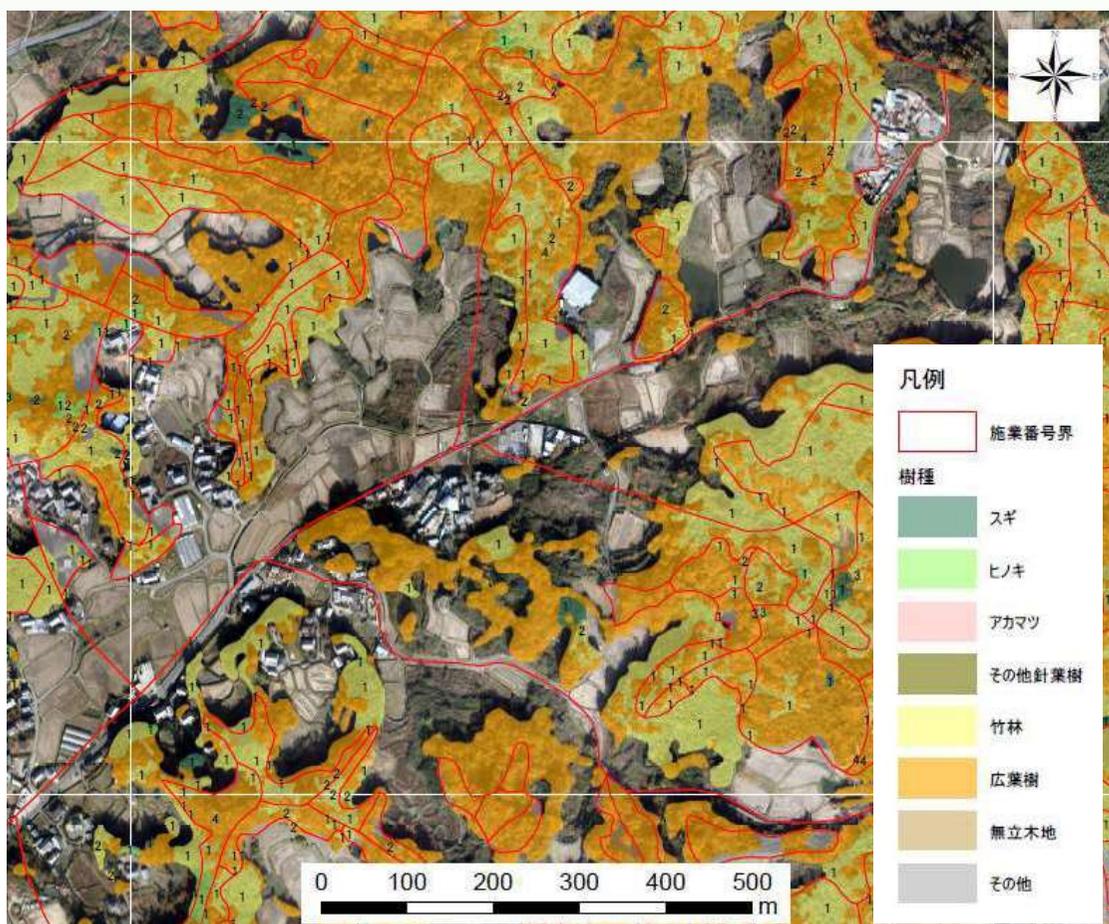


資料: 林野庁HP「森林環境税及び森林環境譲与税の仕組み」

- 間伐（境界確定、路網の整備等を含む） …「森林の整備に関する施策」
 - 人材育成・担い手確保
 - 木材利用促進、普及啓発等
- …「森林の整備の促進に関する施策」

2. 生駒市森林整備方針のあり方について

3) 令和3年度の活用事例



調査対象地の直近の航空写真(平成29年撮影)の画像データ(オーバーラップ率60%以上の単写真)を基に、専用の立体視ソフトウェアを用い、最小単位は0.01ha、樹高は10m超を目安にオペレータの手作業により林相の違いによる区分線を作成。

写真画像を立体視して立木を目視することで、樹種ごとの区分のみならず、林分毎の樹高の違いや樹冠の混み具合(疎密)など林相の違いによって区画を分けることが可能。

2. 生駒市森林整備方針のあり方について

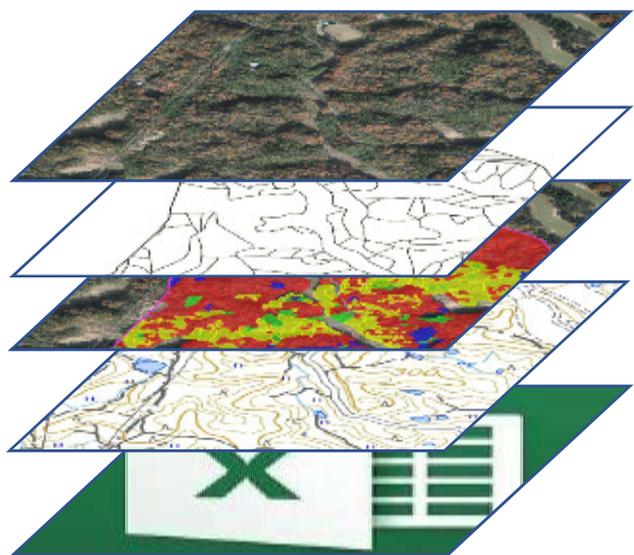
3) 令和3年度の活用事例

林相区分画：地物数 合計: 29685、ファイル: 20685、選択: 1

OBJECTID	LinkKey	樹冠の見み	備考	樹種	Shape_Length	Shape_Area	林相区_KM_YURITUN	林相区_KM_CYOSAN	林相区_KM_RYUUKI	林相区_KM_KYUKEKA	林相区_KM_SICYOJC	林相区_KM_OAZA	林相区_KM_AZA	林相区_KM_OBAN	
654	5444	670001-007	NULL	NULL	広葉樹	342.1952045195...	1502.511556334...	2018	2017	25	6	67	34	77	6222
655	5446	670001-007	2	NULL	竹林	149.5608944455...	306.9683740024...	2018	2017	25	6	67	34	77	6222
656	5449	670001-007	NULL	NULL	広葉樹	84.12321753417...	165.9358366854...	2018	2017	25	6	67	34	77	6222
657	1356	670001-008	1	NULL	竹林	397.363167435941	7145.119039256...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
658	5430	670001-008	NULL	NULL	広葉樹	21.9940411658002	22.35494795871...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
659	5483	670001-008	NULL	NULL	広葉樹	218.0701243890...	1064.978174454...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
660	5484	670001-008	NULL	NULL	その他	274.9278903017...	2838.729634738...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
661	5485	670001-008	1	NULL	ビノキ	47.05310739243...	81.20622242786...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
662	5489	670001-008	NULL	NULL	広葉樹	162.4060470701...	671.976680952906	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
663	3887	670001-008	NULL	NULL	広葉樹	348.3794859285...	1456.894700317...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
664	5085	670001-008	NULL	NULL	広葉樹	155.8175133915...	730.8943476516...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
665	5091	670001-008	NULL	NULL	広葉樹	16.80556579575...	9.032460640917...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
666	5895	670001-008	NULL	NULL	その他	19.58794134178...	26.17349503052...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
667	5896	670001-008	NULL	NULL	その他	13.24323464865...	9.06887743639179	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
668	5897	670001-008	NULL	NULL	広葉樹	65.20695143985...	213.9416462417...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229
669	5490	670001-008	1	NULL	竹林	151.2806450857...	376.1191571089...	2018	2017	25	6	67	34	77	6229

2. 生駒市森林整備方針のあり方について

3) 令和3年度の活用事例



オーバーレイ
(重ね合わせ)

+ 傾斜区分図、傾斜方位図、
CS立体図、道路縁、建築物、
山地災害危険地区

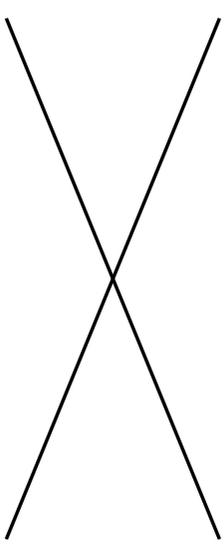
林相判読・森林現況調査により得られた森林資源情報に加え、国土交通省等で公開されているオープンデータを活用し、森林GIS(QGIS)を用いて森林資源情報データベースを作成。

これらデータベースを構築し、森林GIS等のシステムを活用することで、森林整備計画や路網計画、目標林型別ゾーニング、作業システム別ゾーニング等、目的に応じた計画立案やゾーニング作業が効率的に進めることが可能となる。

危険木の処理方針について

危険度のランク分け

ただし、「ナラ枯れ被害防除事業」の対象となる樹木は除く

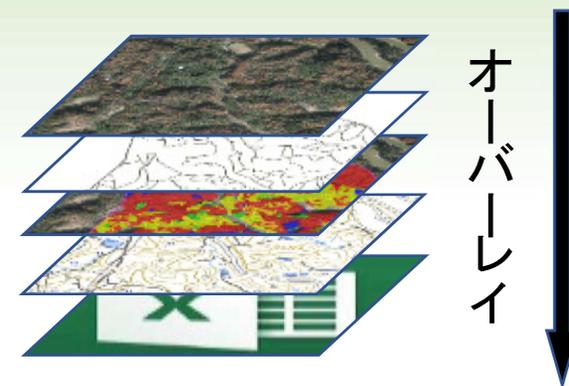
Aランク		住民の生命に対する危険性が極めて高い(通学路)
Bランク		住民の財産に対する危険性が高い
Cランク		歩行者や車両の通行に支障となる危険性が高い
Dランク		地震等災害時に倒木などの恐れがある

第1回懇話会での意見

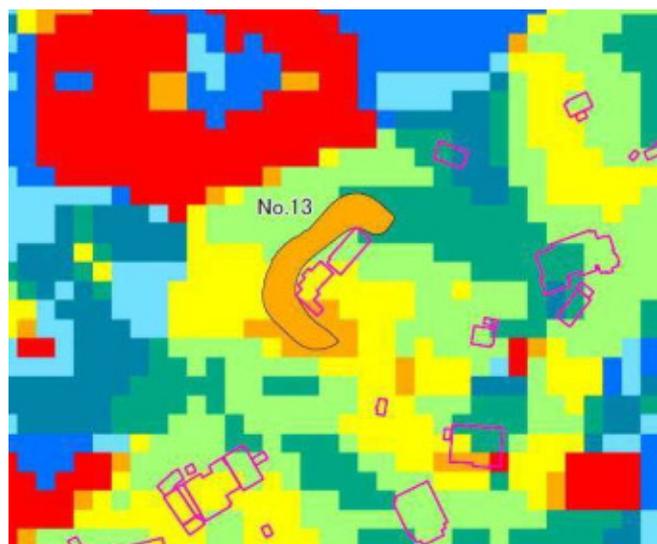
- ・ボランティア団体が伐採した木や竹をそのまま処分するのはもったいない。
- ・ボランティアメンバーの高齢化が進み、人も少なくなっている(対象地の傾斜がきつい)。
- ・森林所有者の責任をどう考えるか？その責任範囲や対策について周知が必要。
- ・補助金交付要綱を見直してほしい。実際の処理に必要な内容や金額と見合っていない。
- ・既に判明している危険木は早急に伐るべきではないか。
- ・みどり公園課の危険木処理の方針を参考にしてみてもどうか。
- ・危険木のランク分けは専門家の判断が必要ではないか。
- ・優先すべきは人命・財産である。

対象林分の抽出

- ①建築物からの距離10mバッファと重なるポリゴンのみを独立的に抽出する。
- ②その際の抽出ポリゴンは、500m²以上の面積のみを対象とする。
- ③建築物に関しては、”属性=堅ろうな建物”および40m²未満の建物は除く。
- ④抽出したポリゴンに、DEMデータおよび傾斜区分図から算出した最大傾斜および平均傾斜の情報を付与する。
- ⑤最大傾斜30° 未満および平均傾斜20° 未満のポリゴンを対象から除く。
- ⑥傾斜方位に対して、建築部の上部に存在するポリゴンのみを抽出する。



空間解析・属性解析



- ・森林所有者の特定
- ・詳細調査